2016年
 11月
 6日
 ≪子供祝福式・誕生祝福式≫

 主日
 礼 拝

 ①8時半~
 ②10時半~
 ③夜7時~

奏楽

司

会

祈 祷 ①石井師 ②白川 達男兄 ③石井師

賛 美 聖歌592番 & 「み手の中で」

①石井師

ヤベツの祈り

**聖 書** ①テモテ第一の手紙1章12~17節

②マルコによる福音12章35~40節

特別賛美 サインダンス

メッセージ ①「生きている者と死んだ者との裁き主」大川従道牧師

②「捧げる人生は救いの人生」石井 潤牧師

②石井 秀人兄

献 金 聖歌490番

「献金当番:和田姉・青木姉」

③石井師

祝祷

お知らせ 【司会者】

子供祝福式 賛美「海と空つくられた主は」

## <u>礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします!</u> **《今週のお知らせ》**

- 1.本日第二礼拝後に子供祝福式を行います。次世代のために祈りましょう!
- 2. 本日昼食後1時~、聖書の学び会と、ヤングチャペルを行います。
- 3. 今週の祈り会は、①木曜は午前 10 時半のみ。大川牧師(大和祈祷会映像)。
  - ②土曜夜8時~、準備祈祷会。〔「ワトトコンサート」/軽井沢大賀ホール・木曜夜7時〕
- 4.来週の日曜礼拝では、聖餐式。昼食後は教会の大掃除を行います。

11/17(木):大手家庭集会 20(日):執事会 27(日):収穫感謝·アドベント /ヤンチャ·聖書学会 28(月):長野家庭集会 12/4(日):聖歌隊

一年	一年に一回聖書を完読できる! <i>Bible Reading Plan</i> 〔11/6~/13〕															
date	date 本日		月		火		水		木		金		土		日	
旧約	エレミヤ 43-45章		46- 48章		49· 50章		51· 52章		哀歌 1•2章		3- 5章		エゼキエル 1-3章		4- 6章	
新約	ヘブル 3章		4章		5章		6章		7章		8章		9章		10:1 -23	
チェック	IΒ	新	旧	新	旧	新	旧	新	IΒ	新	旧	新	IΒ	新	旧	新

## 「捧げる人生は救いの人生」

~人生のすべての部屋を主に捧げよう!~

「すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう。わたしは柔和で心のへりくだった者であるから、わたしのくびきを負うて、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたの魂に休みが与えられるであろう。わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからである」 マタイによる福音書11章28~30節

先週の木曜日は大和教会で「グローバル・リーダーシップ・サミット」というセミナーに参加させていただきました。そのセミナーは10数年継続されているもので、アメリカシカゴにある「ウィロー・クリーク・コミュニティー・チャーチ」が主催する世界的なセミナーで牧師だけではなく、すべてのリーダーと言われる人々にとって、また、すべての人々にとって大いに学びになる内容です。私も何度か学んだことがありますが、その中でも主講師の一人である、主任牧師のビル・ハイベルズ先生の情熱に満ちた感動的な講義にほれ込んでいます。彼は40年間以上も前から現在の教会を開拓し始め、仕え続けて現在は2万人以上の教会に成長しています。

最近出版されたハイベルズ師の「シンプルに生きる」という書物を読んでいますが、その中で、「シンプルに生きる」ことの重要性を語りながら、それがなかなかできないと悩み、失敗してきた経験を語っています。私たちは仕事ができればできるほど、また、どんな人であっても、自分の人生、毎日の生活を整えていくことは簡単なことではありません。

以前ハワイでお世話になったウェイン・コデイロ先生の教えの中で聞いた内容ですが、「マージンを大切にしなさい」。「マージン」とは日本語で「余白」と訳せる言葉です。先生はそのメッセージの中で、日本の「書道」の世界をご紹介されていて、「書」の中で重要なのはその字そのものが生き生きとするために、余白の使い方が重要であるとのことでした。もしも、余白が全くなく、ギリギリまで字を書いていたら、読みにくいし、美しくありません。それと同じように私たちの人生も余白がない人生、生活はバランスを欠き、健康的ではありません。ですから、私たちの人生の余白=マージン=遊びと言われる部分をもっと大切にしていかなければならないというメッセージが私の心に強く残っています。もちろん一つの働きを成し遂げた時の達成感というものはとても大切です。しかし、欲張りすぎて、あまりにも多くのことを自分の力でやろうとし過ぎてしまうことは良くありません。それは自己満足で終わってしまうかもしれません。私たちのすべての仕事は主にあってなされることです。私たちの全分野を主に明け渡すことからスタートしたいと思います。そして、主と共に主のために喜びと感謝を持ってすべてのことを実行していきたいと願っています。